



迫



宝珠



春田



久六



浄万寺子ども会



浄万寺



上弁城



新町



東和会(東古門)



童心会(野添)



榮友会(中古門)



西流会(西古門)



酒友会



白鬚神社神幸祭



5月4日から2日間行われた白鬚神社と赤坂神社の神幸祭は、夜の華やかさとは一変して、厳かな雰囲気漂わせます。江戸時代からの歴史を持つ両社の神幸祭は、しきたりなどの伝統を重んじながら、祭り本来の姿を失わずに神事を遂行。個性を生かし、工夫を凝らしたそれぞれの山笠が地区を練り歩けば、囃子の音色と相まって、閑静な住宅地と緑豊かな田園風景を華やかに包み込みます。最終日の夕日が沈むその時まで、声を枯らしながら自慢の山笠を押し続けたかき手たち。伊方の初夏を彩った祭りの活況は、色あせない姿として今年も多くの人々の心に焼き付いていました。

昂然

こうぜん

フォトレポート／伊方の祭り(昼)

神幸祭 Ikaha no jinkousai

流麗

りゅうれい

フォトレポート／弁城の祭り(昼)

5月9日と10日の2日間、弁城地区で岩屋神社の神幸祭が行われました。7つの常会がそれぞれ、約4メートルの馬籠を纏った山笠を運行。太鼓と鉦でリズムをたたき出しながら、かき手たちの歩みと同調した馬籠が、青空に白い線を幾重にも重ね、初夏のすがすがしさを演出しました。最終日には荘厳な御輿を守る7基と子ども山笠が、岩屋神社境内で競演会を挙行。かき手たちは地域の声援にこたえるように、砂煙を上げながら、山笠を自在に操り見事な練り回しを披露しました。旋回が終わるたびに惜しみない拍手と歓声が送られ、かき手も観客も一体となり、2年ぶりの祭事を謳歌していました。

神幸祭 Benjyo no jinkousai



岩屋神社神幸祭



新門下子ども会



後谷同好会



新友会(新門)



赤坂神社神幸祭